

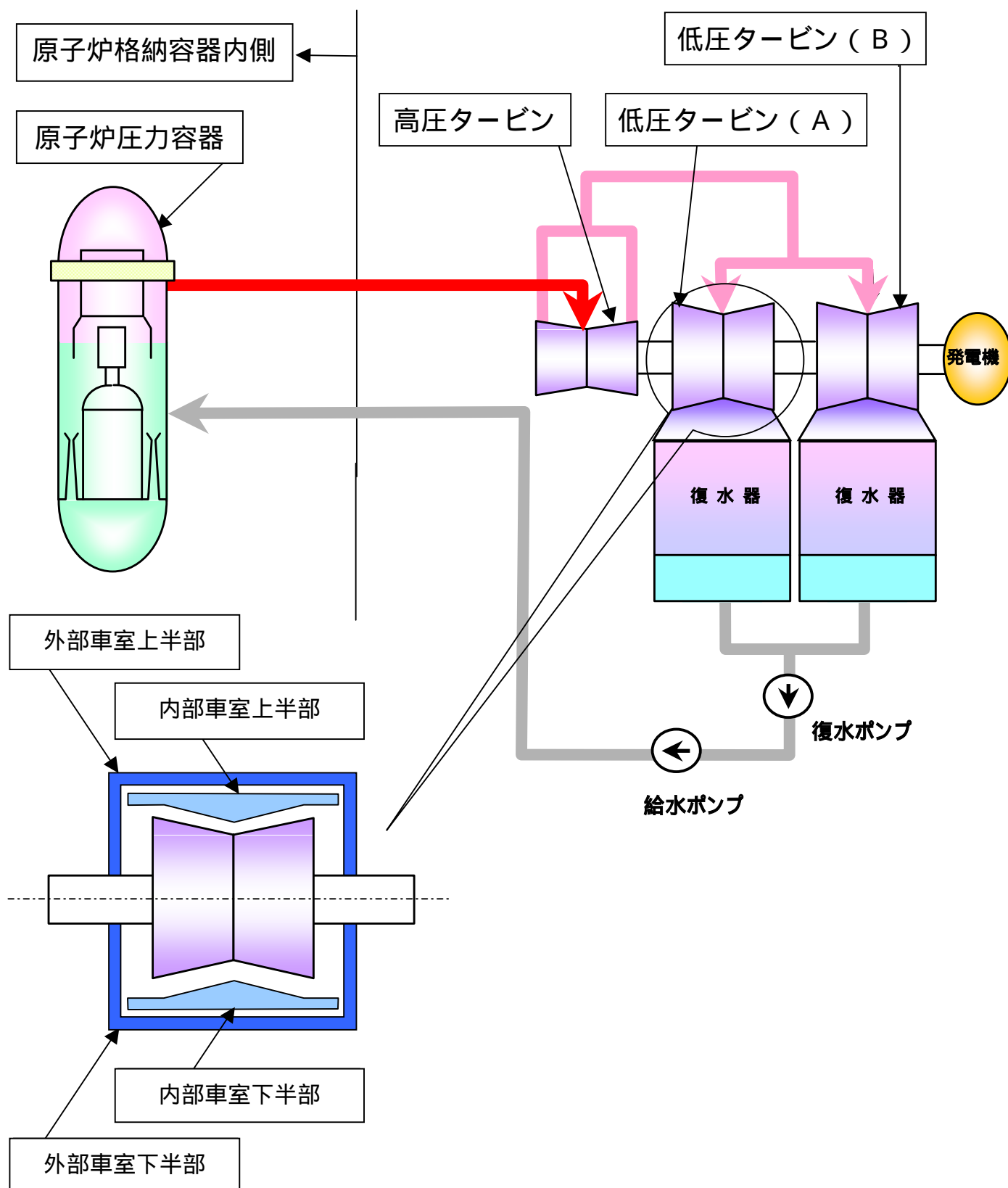
女川原子力発電所 定期検査・主要機器点検情報

No. 2 (改)

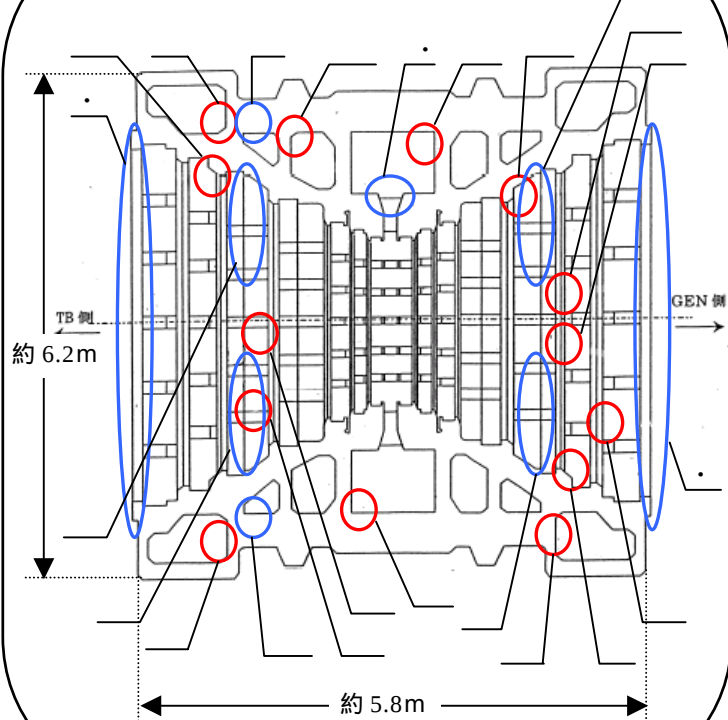
(平成17年2月分)

号	機	2号機		定 期 検 査	第7回定期検査	
件	名	主タービンにおけるひびについて				
月	日	平成17年2月4日(金)			発 生	発 見 確 認
場	所	タービン建屋	設 備	主タービン	設備区分	それ以外の系統
設備概要		蒸気タービン設備は、高圧タービン1台と低圧タービン2台で構成されており、原子炉で発生した蒸気でタービンを回して発電を行う設備です。				
所 見		・ 蒸気タービン開放検査において、低圧タービン(A)の内部・外部車室の浸透探傷検査¹を行ったところ、低圧タービン(A)内部車室上半部の溶接部23箇所の部位および内部車室下半部の溶接部14箇所の部位にひび(長さ3～310mm)が認められました。(2月8～10日) また、低圧タービン(A)外部車室上半部の溶接部4箇所の部位にブローホール²が認められました。(2月7日、24日) ・ 同様に、低圧タービン(B)の内部・外部車室の浸透探傷検査¹を行ったところ、低圧タービン(B)内部車室上半部の溶接部6箇所の部位および内部車室下半部の溶接部15箇所の部位にひび(長さ1～300mm)が認められました。 (2月4日、5日) また、低圧タービン(B)外部車室上半部の溶接部3箇所の部位にブローホール²が認められました。(2月24日) (3月8日お知らせ済み) ・ ひび等の認められた溶接部については、ひび等を除去した上で、溶接補修を実施しました。(3月11日) 1 浸透探傷検査とは非破壊検査の一種で、探傷剤を使用して傷を見つける検査。 2 ブローホールとは溶接時における欠陥の一種で、溶接金属内部に形成された空洞部。				

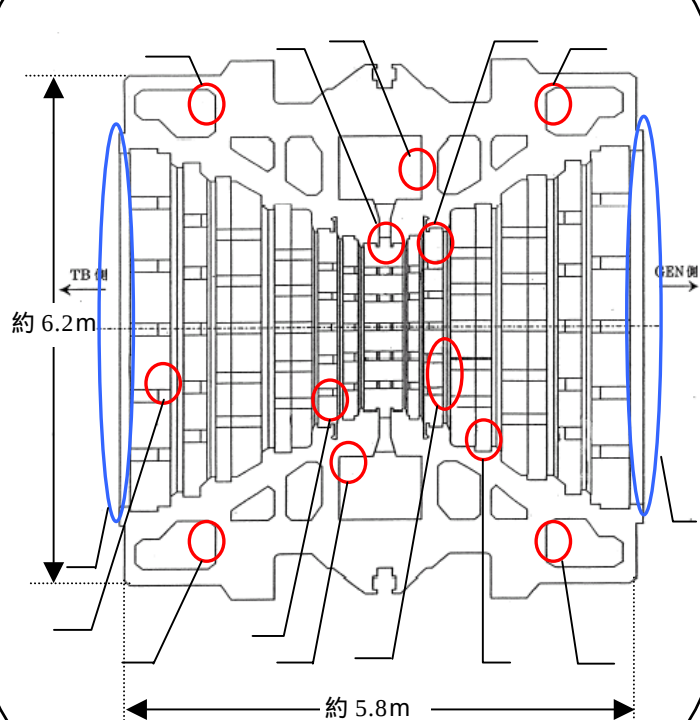
低圧タービン概略図



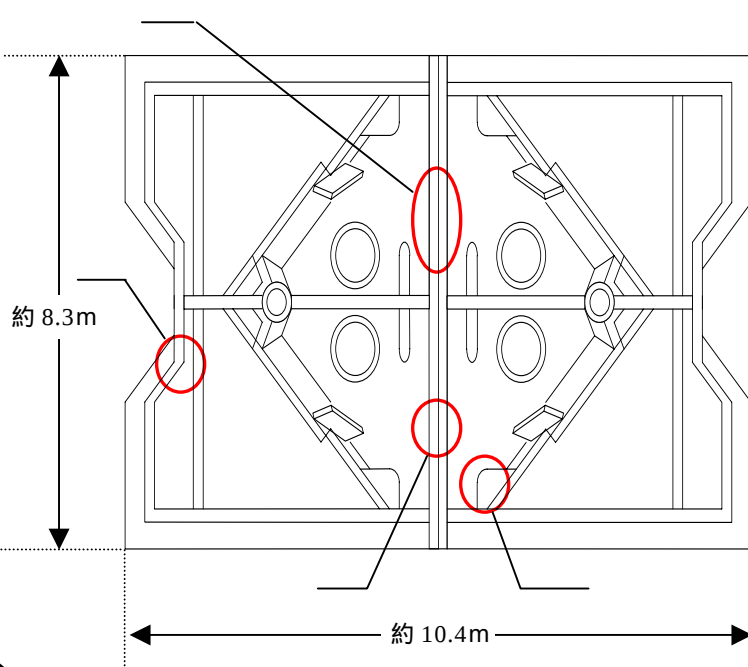
低圧タービン A 内部車室上半部



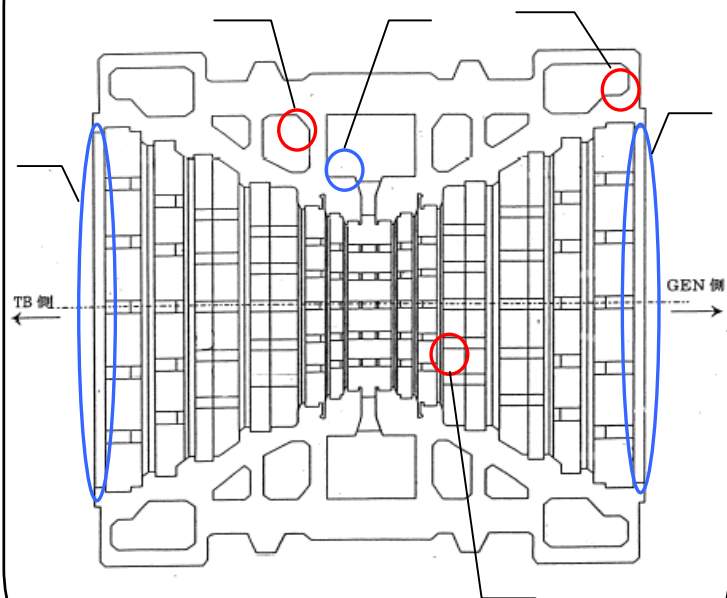
低圧タービン A 内部車室下半部



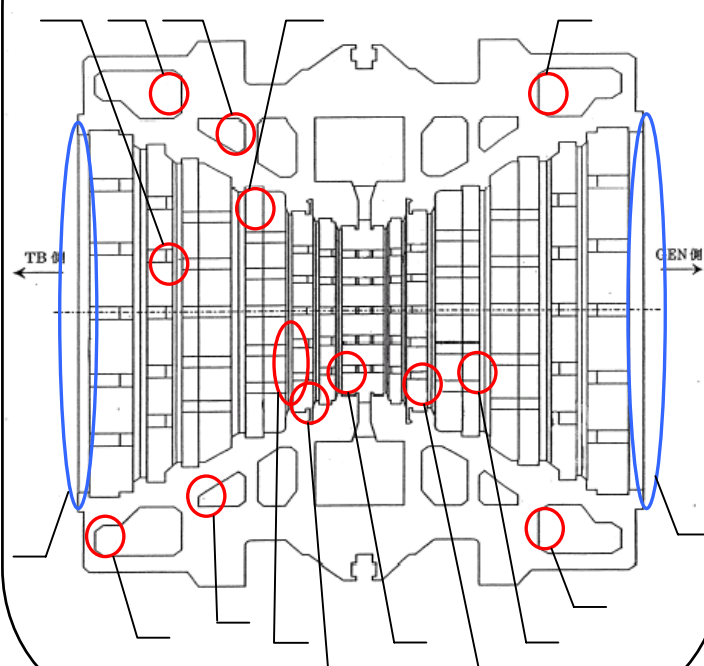
低圧タービン A 外部車室上半部



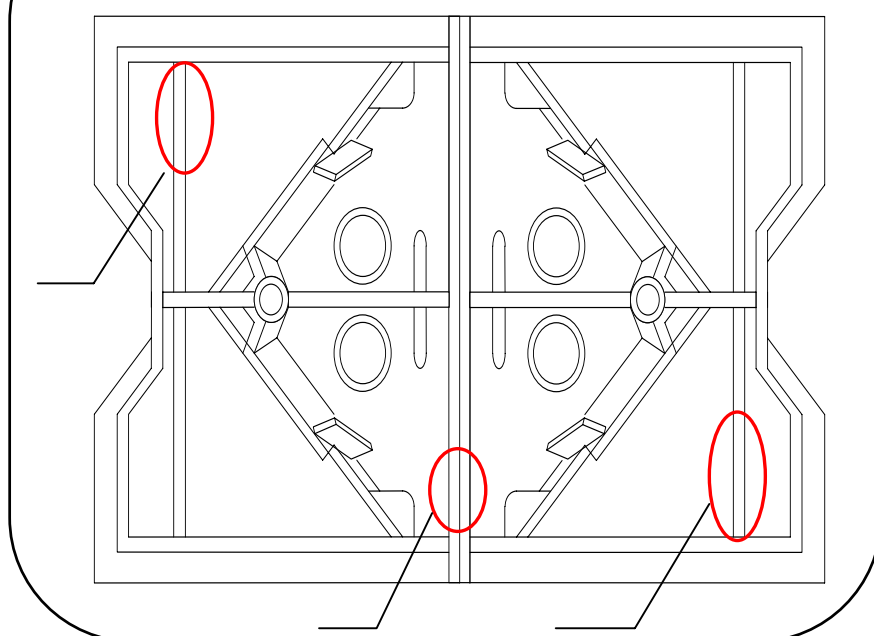
低圧タービン B 内部車室上半部



低圧タービン B 内部車室下半部



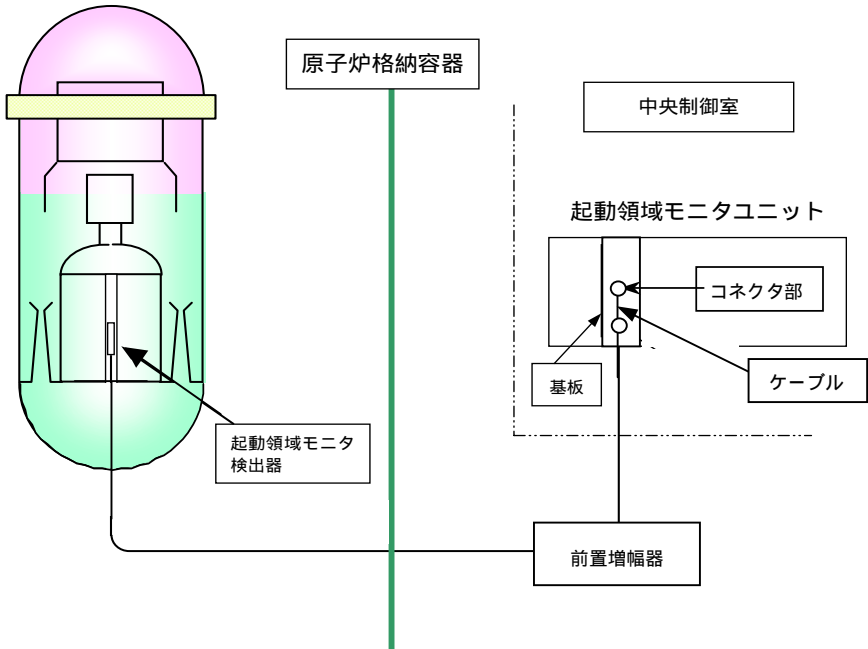
低圧タービン B 外部車室上半部



女川原子力発電所 定期検査・主要機器点検情報

No. 3 (改)

(平成17年2月分)

号 機	2号機		定 期 検 査	第 7 回定期検査	
件 名	起動領域モニタケーブル接続不良について				
月 日	平成 17 年 2 月 7 日 (月)		発 生	発 見	確 認
場 所	原子炉建屋	設 備	起動領域モニタ	設備区分	それ以外の系統
設備概要	起動領域モニタは、原子炉の未臨界状態から出力領域における中性子束レベル等を監視し、異常な出力の上昇があった際に警報ならびに制御棒引抜阻止および原子炉自動停止信号を発生させるもので、原子炉内に 8 箇所設置されております。				
所 見	・ 起動領域モニタの検出器の校正を行ったところ、A および D の 2 箇所のモニタについて、校正範囲を逸脱する指示が確認されました。原因の調査を行ったところ、検出器からの信号を増幅させる前置増幅器からのケーブルを基板に接続するコネクタ部に接続不良が確認されました。(2 月 4 日) (3 月 8 日お知らせ済み) ・ 起動領域モニタ A および D を含む全 8 箇所のケーブルおよびコネクタの取替を実施しました。また、取替後に前置増幅器から起動領域モニタユニットまでの入出力特性試験を実施し、起動領域モニタ全数の健全性を確認しました。 (3 月 1 8 日)				
	原子炉压力容器  原子炉格納容器 中央制御室 起動領域モニタユニット コネクタ部 ケーブル 基板 前置増幅器 起動領域モニタ検出器				